

家庭警備事業に参入

4社と提携 火災、侵入者に対応

LPガス製造販売のつばめガス(岡山市福田)は、家庭向け警備事業に本格参入した。子会社のエリス(同所)が大手のセントラル警備保障(東京)など警備会社4社と提携し、つばめガスがガスメーターを利用して行っているセキュリティサービスを強化。ガス顧客以外の市場開拓も目指す。

つばめガスは、ガスのセキュリティサービスを約十五年前に導入した。メーターにつないだ電話回線などを通じ、ガスの使用状況を本社との総管理センターで二十四時間監視。ガス漏れや、消し忘れが疑われるような長時間使用などの異常時には、契約者に連絡する。

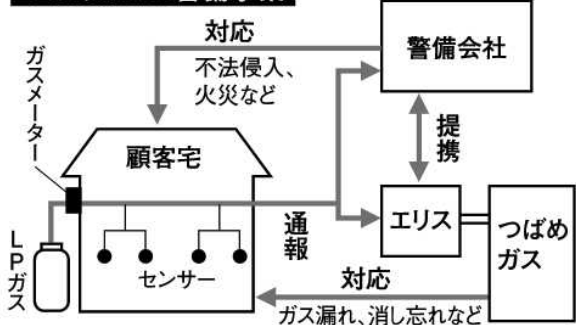
防犯や防災に関するこの数年のニーズの高まりを受け、一層の付加価値サービス提供のため警備業への参入を計画。警備業法上の認定を取得していないため、セントラル警備保障や飛鳥総合警備保障(岡山市新福)、警備開発(広島市南区)、バンガード(姫路市)と提携し体制を整えた。

仕組みは、火災や侵入者を感じるとセンサーが非常ボタンなどを屋内に設置。ガス漏れなどの異常



警備事業に本格参入したつばめガスの総合管理センター

つばめガスの警備事業



は、火災や侵入者を感じるとセンサーが非常ボタンなどを屋内に設置。ガス漏れなどの異常

都市ガスの福山ガス(福山市南手城町)は、原料を二〇〇七年一月から、現行の石炭系から高カロリーの液化天然ガス(LNG)に転換する。同市内の供給地域六万六千世帯が対象。ノズルの取り換えなどガス器具の調整作業を順次実施し、〇八年六月までに転換作業を終える。総投資額は八十二億円。中国電力(広島市)と新日本石油(東京)の共同出資会社「水島エルエヌジー」(倉敷市水島海

津山ガスはセンター稼働都市ガスの津山ガス(津山市林田町)は三日、二〇〇六年春から行うLPG(液化石油ガス)からLNGへの燃料転換に向け、同市井口に整備した天然ガス転換センターで業務を開始した。転換には、家庭のガス

器具の部品交換など調整が必要で、来年四月十七日から三カ月かけ、供給する約九千五百世帯で作業を進める。調整費用は同社負担のため無料。総事業費は約十億円。同センターはプレハブ平屋三百三十平方メートルで部品調達や作業実施へ向けた調査などを手

掛ける。来年四月に一棟増設し、百八十人体制とする。ガスを供給する天然ガス事業所は、年内に同市志戸部に完成の予定。

岡山県内では、岡山ガス(岡山市)が〇六年の完了に向け転換作業中。水島ガス(倉敷市)は〇八年から作業を行う予定。

福山ガス LNGに原料転換 07年から6.6万世帯対象

福山ガスは「転換には費用がかかるが、安定供給や環境対策など天然ガスの利点をアピールしたい」としている。

広島県内では、広島ガスが〇二年に転換作業を終え、因の島ガス(因島市)は〇八年に着手する予定。

常は従来通りつばめガス、不法侵入や火災時には警備会社が出動して対応にあたる。エリスは営業や設備施工などを担当する。

価格は基本プランで、賃貸住宅向け月額三千三百五十円、戸建て同四千二百円から。エリスは「既存設備が利用できることもあり、警備会社単独の場合より割安

の料金設定にした」と言う。事業区域は岡山、倉敷、総社、福山、姫路市。

エリスは「警備会社の持つ専門的なノウハウと、一般家庭に強いガス会社の営業力を組み合わせ、今後の事業の柱の一つに育てたい」としている。

エリスは同社の100%子会社で〇一年設立。資本金三百万円、従業員六人。ガスコージェネレーション(熱電併給)設備の販売などを行っており、売上高は一億円(〇五年六月期)。

所福山地区(福山市鋼管町)の構内に、来秋の完成を目指し受け入れ基地を整備している。

天然ガスは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が石油系の燃料と比べて少ないことなどから、国の方針を受け全国の都市ガス会社で燃料転換が進んでいる。